

# iFree NYダウ・インデックス

## 運用報告書(全体版)

### 第8期

(決算日 2024年9月9日)

(作成対象期間 2023年9月8日~2024年9月9日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式/インデックス型		
信託期間	無期限(設定日:2016年9月8日)		
運用方針	投資成果をダウ・ジョーンズ工業株価平均(配当込み、円ベース)の動きに連動させることをめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	ベビーファンド	NYダウ・インデックス・マザーファンドの受益証券	
	NYダウ・インデックス・マザーファンド	イ. 米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式(上場予定および店頭登録予定を含みます。) 口. 米国の企業のDR(預託証券) 八. 米国株式の指数との連動をめざすETF(上場投資信託証券)	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率		無制限
	ベビーファンドの株式実質組入上限比率		
	マザーファンドの株式組入上限比率		
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国の株式に投資し、投資成果をダウ・ジョーンズ工業株価平均(配当込み、円ベース)の動きに連動させることをめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先(コールセンター)  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00~17:00)  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (税引後配当込み、円ベース)		株式 組入比率	株式 先物比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(ベンチマーク)	期中 騰落率				
	円	円	%		%	%	%	%	百万円
4期末(2020年9月7日)	17,102	0	6.2	16,981	6.2	95.8	1.6	2.6	18,898
5期末(2021年9月7日)	22,514	0	31.6	22,330	31.5	93.6	2.8	3.6	28,160
6期末(2022年9月7日)	26,238	0	16.5	25,997	16.4	90.7	2.8	6.7	40,393
7期末(2023年9月7日)	30,498	0	16.2	30,168	16.0	92.8	2.1	5.2	56,097
8期末(2024年9月9日)	34,992	0	14.7	34,580	14.6	95.8	1.3	3.0	70,846

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) ダウ・ジョーンズ工業株価平均(税引後配当込み、円ベース)は、ダウ・ジョーンズ工業株価平均(税引後配当込み、米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

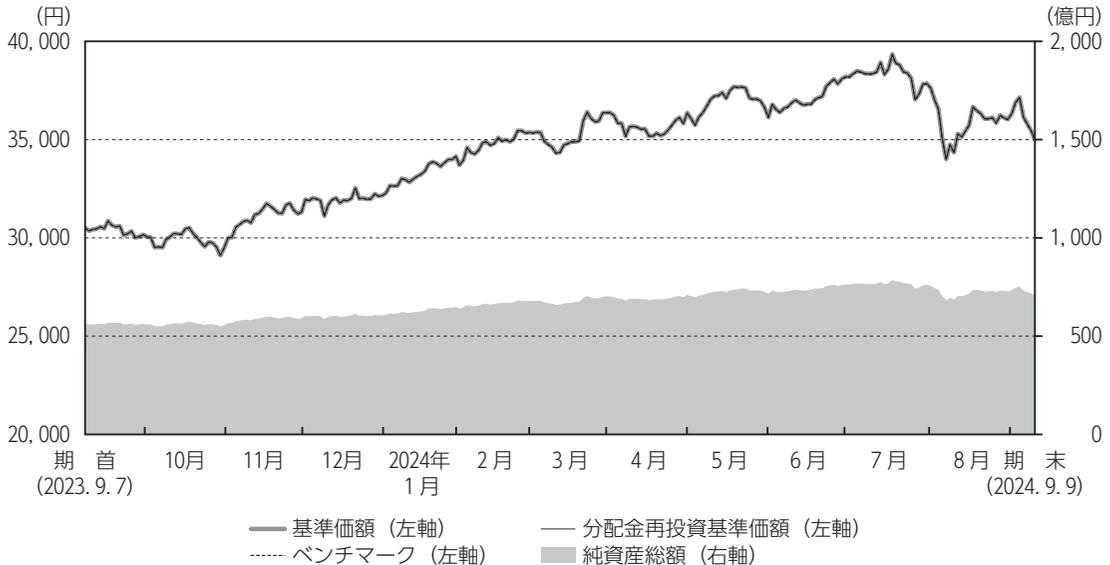
(注6) 株式先物比率は買建比率-売建比率です。

ダウ・ジョーンズ工業株価平均は S&P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社 (「SPDJ」) の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P<sup>®</sup>、S & P 500<sup>®</sup>、US 500、The 500、iBoxx<sup>®</sup>、iTraxx<sup>®</sup> および CDX<sup>®</sup> は、S&P Global, Inc. またはその関連会社 (「S & P」) の商標です。Dow Jones<sup>®</sup> は、Dow Jones Trademark Holdings LLC (「Dow Jones」) の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスは SPDJ に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社に一定の目的でサブライセンスされています。iFree NYダウ・インデックスは、SPDJ、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、ダウ・ジョーンズ工業株価平均のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

\* ベンチマークはダウ・ジョーンズ工業株価平均（税引後配当込み、円ベース）です。

#### ■ 基準価額・騰落率

期首：30,498円

期末：34,992円（分配金0円）

騰落率：14.7%（分配金込み）

#### ■ 基準価額の主な変動要因

「NYダウ・インデックス・マザーファンド」の受益証券を通じて、ベンチマークの動きに連動させることをめざして運用を行った結果、米ドル円為替相場は下落（円高）したものの、米国株式市況が上昇したことを受け、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

年 月 日	基 準 価 額		ダウ・ジョーンズ 工業株価平均 (税引後配当込み、円ベース)		株 式 組入比率	株 式 先物比率	投資信託 受益証券 組入比率
	円	騰 落 率	(ベンチマーク)	騰 落 率			
		%		%	%	%	%
(期首)2023年9月7日	30,498	—	30,168	—	92.8	2.1	5.2
9月末	30,155	△ 1.1	29,831	△ 1.1	94.8	1.5	3.7
10月末	29,500	△ 3.3	29,184	△ 3.3	95.6	1.3	3.1
11月末	31,305	2.6	30,957	2.6	95.3	1.5	3.2
12月末	32,160	5.4	31,803	5.4	95.2	1.5	3.2
2024年1月末	34,147	12.0	33,770	11.9	94.6	1.5	3.9
2月末	35,372	16.0	34,973	15.9	94.5	2.2	3.3
3月末	36,377	19.3	35,962	19.2	95.1	1.1	3.8
4月末	36,365	19.2	35,958	19.2	95.5	1.1	3.4
5月末	36,144	18.5	35,729	18.4	95.2	1.8	3.0
6月末	38,201	25.3	37,762	25.2	95.6	1.3	3.0
7月末	37,638	23.4	37,206	23.3	95.8	1.2	3.0
8月末	36,329	19.1	35,906	19.0	96.0	1.0	3.0
(期末)2024年9月9日	34,992	14.7	34,580	14.6	95.8	1.3	3.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2023. 9. 8 ~ 2024. 9. 9)

### ■ 米国株式市況

米国株式市況は、一時的な調整を挟みながら大幅に上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、F R B（米国連邦準備制度理事会）の政策金利見通しの引き上げ、政府機関の閉鎖懸念などによる長期金利の大幅な上昇、パレスチナ情勢の悪化などが嫌気され、2023年10月末にかけて下落しました。しかし11月以降は、欧米のインフレ率が予想以上に低下したことや、F R B議長が将来の利下げについての議論を始めたことを受けて利下げ期待が高まったことなどが好感され、上昇しました。2024年1月以降も、製造業の景況感が改善したことやA I（人工知能）関連企業が良好な決算を発表したことなどが好感され、押し目らしい押し目もなく上昇が継続しました。4月に入ると、インフレ再燃が懸念され米国の利下げ開始が後ずれするとの見方が強まり、反落しました。4月下旬以降は、インフレ率が低下傾向となり利下げ期待が再び高まったことなどから上昇基調となり、高成長が期待されるA I関連企業の株価急騰が相場をけん引して高値を更新しました。しかし7月中旬以降は、対中輸出規制強化への懸念などから半導体関連株主導で下落しました。さらに8月初旬には、雇用統計が市場予想よりも弱い内容であったことから景気の先行きに対する不透明感がにわかに強まり、急落しました。その後は、米国の経済指標の改善やF R B議長の実質的な利下げ開始発言などを好感して株価は急反発しました。当作成期末にかけては、経済指標が市場予想を下回ったことで再び景気後退懸念が高まったことから、株価はやや軟調に推移しました。

### ■ 為替相場

米ドル対円為替相場は下落しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、米国金利が上昇した一方で日銀は緩和的な金融政策の維持を発表したことから、上昇（円安）しました。しかし2023年11月以降は、日銀による政策修正や米国金利の大幅な低下を背景に、米ドルは対円で下落しました。2024年に入ってから、米国金利の上昇や日銀による金融政策の維持などを背景に円安米ドル高に転じ、その後も日銀の副総裁がマイナス金利解除後も緩和的な金融環境を維持する見通しと発言したことなどを背景に、円安米ドル高基調となりました。2024年3月には、日銀がマイナス金利の解除など大規模な金融緩和の終了を発表したものの、他国・地域に比べて緩和的な環境が続く見通しなどから、円安基調となりました。その後、過度な円安米ドル高進行に対し政府・日銀が為替介入を行ったものの、円安基調は継続しました。しかし7月は、日銀が7月の金融政策決定会合において、緩和的な金融政策を修正する観測が高まったことなどから大幅な円高米ドル安に転じました。日銀が実際に利上げを決定した後も追加利上げへの警戒感がくすぶったことから、当作成期末にかけて円高基調は継続し、米ドルは対円で下落しました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

今後の運用にあたりましては、引き続き、「NYダウ・インデックス・マザーファンド」の受益証券をほぼ100%組み入れることで、ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行ってまいります。

### ■NYダウ・インデックス・マザーファンド

今後の運用にあたりましては、引き続き、ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行ってまいります。

## ポートフォリオについて

(2023.9.8～2024.9.9)

### ■当ファンド

「NYダウ・インデックス・マザーファンド」の受益証券をほぼ100%組み入れました。

### ■NYダウ・インデックス・マザーファンド

米国株式を中心に、ダウ・ジョーンズ工業株価平均との連動をめざす先物・ETF（上場投資信託証券）も一部利用し、株式組入比率（ETF、株価指数先物を含む。）につきましては、当作成期を通じておおむね100%程度の水準を維持しました。

ダウ・ジョーンズ工業株価平均の採用銘柄に投資を行うことで米国株式のポートフォリオを構築し、ファンドの資産規模や資金動向、売買コストの抑制等を勘案しながら、基準価額とベンチマークとの連動性を維持・向上させるよう運用を行いました。

\* マザーファンドのベンチマークは以下の通りです。

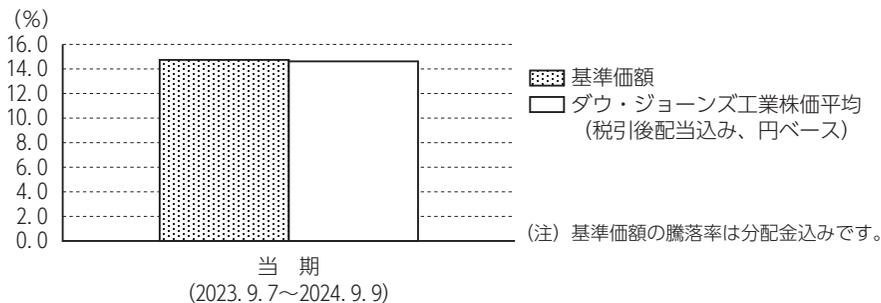
組入ファンド	ベンチマーク
NYダウ・インデックス・マザーファンド	ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (税引後配当込み、円ベース)

## ベンチマークとの差異について

当作成期のベンチマークの騰落率は14.6%となりました。一方、当ファンドの基準価額の騰落率は14.7%となりました。

マザーファンドで組み入れているポートフォリオの騰落率とベンチマークの騰落率との差異、運用管理費用、売買コスト等がかい離要因として挙げられます。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額とベンチマークとの騰落率の対比です。



\*ベンチマークはダウ・ジョーンズ工業株価平均 (税引後配当込み、円ベース) です。

## 分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が少額だったため、収益分配を見送らせていただきました。なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2023年9月8日 ～2024年9月9日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	24,992

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

今後の運用にあたりましては、引き続き、「NYダウ・インデックス・マザーファンド」の受益証券をほぼ100%組み入れることで、ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行ってまいります。

### ■NYダウ・インデックス・マザーファンド

今後の運用にあたりましては、引き続き、ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行ってまいります。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2023. 9. 8~2024. 9. 9)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	86円	0. 249%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は34, 376円です。
(投 信 会 社)	(46)	(0. 133)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(30)	(0. 088)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(10)	(0. 028)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	1	0. 002	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(0)	(0. 001)	
(先物・オプション)	(0)	(0. 000)	
(投資信託受益証券)	(0)	(0. 001)	
有 価 証 券 取 引 税	0	0. 000	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0. 000)	
(投資信託受益証券)	(0)	(0. 000)	
そ の 他 費 用	3	0. 008	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0. 005)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	89	0. 260	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

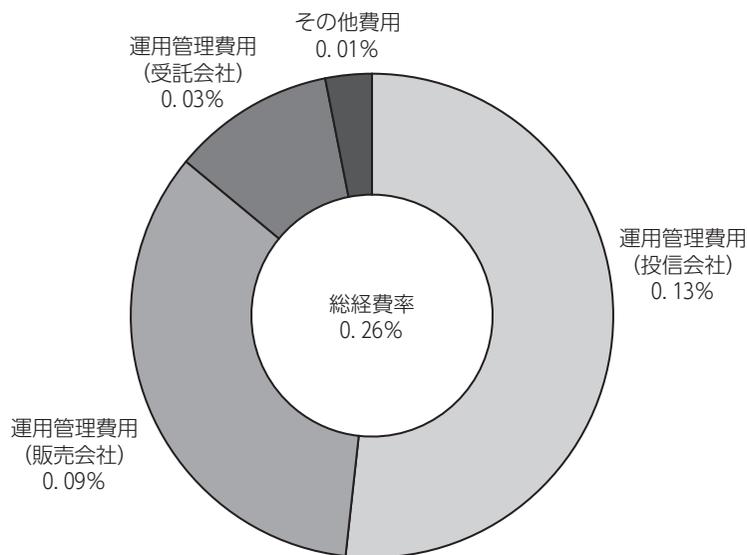
(注 3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

## ■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.26%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

## ■売買および取引の状況

## 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2023年9月8日から2024年9月9日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数 千口	金 額 千円	□ 数 千口	金 額 千円
NYダウ・インデックス・マザーファンド	2,724,195	9,611,183	955,265	3,337,395

(注) 単位未満は切捨て。

## ■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2023年9月8日から2024年9月9日まで)

項 目	当 期
	NYダウ・インデックス・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	12,945,843千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	63,724,100千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.20

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

## ■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

## ■組入資産明細表

## 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数 千口	□ 数 千口	評 価 額 千円
NYダウ・インデックス・マザーファンド	18,068,033	19,836,963	70,837,795

(注) 単位未満は切捨て。

## ■投資信託財産の構成

2024年9月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額 千円	比 率 %
NYダウ・インデックス・マザーファンド	70,837,795	99.8
コール・ローン等、その他	148,201	0.2
投資信託財産総額	70,985,997	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、9月9日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝142.78円です。

(注3) NYダウ・インデックス・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(70,675,535千円)の投資信託財産総額(70,845,273千円)に対する比率は、99.8%です。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年9月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	70,985,997,055円
コール・ローン等	148,201,215
NYダウ・インデックス・マザーファンド(評価額)	70,837,795,840
(B) 負債	139,972,335
未払解約金	48,009,991
未払信託報酬	90,846,824
その他未払費用	1,115,520
(C) 純資産総額(A-B)	70,846,024,720
元本	20,246,307,974
次期繰越損益金	50,599,716,746
(D) 受益権総口数	20,246,307,974口
1万口当り基準価額(C/D)	34,992円

\* 期首における元本額は18,394,116,430円、当作成期間中における追加設定元本額は6,397,406,233円、同解約元本額は4,545,214,689円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は34,992円です。

## ■損益の状況

当期 自 2023年9月8日 至 2024年9月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	59,458円
受取利息	78,713
支払利息	△ 19,255
(B) 有価証券売買損益	6,848,792,081
売買益	8,482,536,004
売買損	△ 1,633,743,923
(C) 信託報酬等	△ 167,334,750
(D) 当期損益金 (A + B + C)	6,681,516,789
(E) 前期繰越損益金	11,321,763,020
(F) 追加信託差損益金	32,596,436,937
(配当等相当額)	( 18,127,517,009)
(売買損益相当額)	( 14,468,919,928)
(G) 合計 (D + E + F)	50,599,716,746
次期繰越損益金 (G)	50,599,716,746
追加信託差損益金	32,596,436,937
(配当等相当額)	( 18,127,517,009)
(売買損益相当額)	( 14,468,919,928)
分配準備積立金	18,003,279,809

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

## ■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	59,458円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	6,681,407,442
(c) 収益調整金	32,596,436,937
(d) 分配準備積立金	11,321,812,909
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	50,599,716,746
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	50,599,716,746
(h) 受益権総口数	20,246,307,974口

# NYダウ・インデックス・マザーファンド

## 運用報告書 第8期 (決算日 2024年9月9日)

(作成対象期間 2023年9月8日～2024年9月9日)

NYダウ・インデックス・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

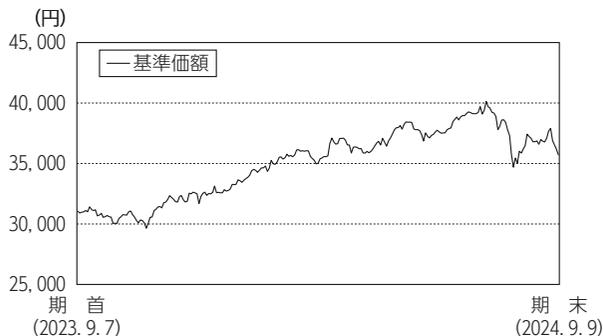
運用方針	投資成果をダウ・ジョーンズ工業株価平均（配当込み、円ベース）の動きに連動させることをめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ. 米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。） ロ. 米国の企業のDR（預託証券） ハ. 米国株式の指数との連動をめざすETF（上場投資信託証券）
株式組入制限	無制限

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (税引後配当込み、円ベース)		株組比	式入率	株先比	式物率	投資信託受益証券組入比率
	円	騰落率	(ベンチマーク)	騰落率					
(期首) 2023年9月7日	31,045	—	30,168	—	92.8	2.1	5.2		
9月末	30,701	△ 1.1	29,831	△ 1.1	94.8	1.5	3.7		
10月末	30,040	△ 3.2	29,184	△ 3.3	95.6	1.3	3.1		
11月末	31,885	2.7	30,957	2.6	95.3	1.5	3.2		
12月末	32,763	5.5	31,803	5.4	95.3	1.5	3.2		
2024年1月末	34,795	12.1	33,770	11.9	94.6	1.5	3.9		
2月末	36,051	16.1	34,973	15.9	94.6	2.2	3.3		
3月末	37,082	19.4	35,962	19.2	95.1	1.1	3.8		
4月末	37,078	19.4	35,958	19.2	95.5	1.1	3.4		
5月末	36,861	18.7	35,729	18.4	95.3	1.8	3.0		
6月末	38,966	25.5	37,762	25.2	95.7	1.3	3.0		
7月末	38,400	23.7	37,206	23.3	95.9	1.2	3.0		
8月末	37,072	19.4	35,906	19.0	96.0	1.0	3.0		
(期末) 2024年9月9日	35,710	15.0	34,580	14.6	95.8	1.3	3.0		

- (注1) 騰落率は期首比。
- (注2) ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (税引後配当込み、円ベース) は、ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (税引後配当込み、米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。
- (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注5) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆ 基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：31,045円 期末：35,710円 騰落率：15.0%

【基準価額の主な変動要因】

ベンチマークの動きに連動させることをめざして運用を行った結果、米ドル円為替相場は下落 (円高) したものの、米国株式市況が上昇したことを受け、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆ 投資環境について

○ 米国株式市況

米国株式市況は、一時的な調整を挟みながら大幅に上昇しました。米国株式市況は、当作成期首より、F R B (米国連邦準備制度理事會) の政策金利見通しの引き上げ、政府機関の閉鎖懸念などによる長期金利の大幅な上昇、パレスチナ情勢の悪化などが嫌気され、2023年10月末にかけて下落しました。しかし11月以降は、欧米のインフレ率が予想以上に低下したことや、F R B議長が将来の利下げについての議論を始めたことを受けて利下げ期待が高まったことなどが好感され、上昇しました。2024年1月以降も、製造業の景況感が改善したことやA I (人工知能) 関連企業が良好な決算を発表したことなどが好感され、押し目らしい押し目もなく上昇が継続しました。4月に入ると、インフレ再燃が懸念され米国の利下げ開始が後ずれするとの見方が強まり、反落しました。4月下旬以降は、インフレ率が低下傾向となり利下げ期待が再び高まったことなどから上昇基調となり、高成長が期待されるA I関連企業の株価急騰が相場をけん引して高値を更新しました。しかし7月中旬以降は、対中輸出規制強化への懸念などから半導体関連株主導で下落しました。さらに8月初旬には、雇用統計が市場予想よりも弱い内容であったことから景気の先行きに対する不透明感がにわかになり、急落しました。その後は、米国の経済指標の改善やF R B議長の実質的な利下げ開始発言などを好感して株価は急反発しました。当作成期末にかけては、経済指標が市場予想を下回ったことで再び景気後退懸念が高まったことから、株価はやや軟調に推移しました。

○ 為替相場

米ドルの対円為替相場は下落しました。米ドル対円為替相場は、当作成期首より、米国金利が上昇した一方で日銀は緩和的な金融政策の維持を発表したこと、上昇 (円安) しました。しかし2023年11月以降は、日銀による政策修正や米国金利の大幅な低下を背景に、米ドルは対円で下落しました。2024年に入ってからは、米国金利の上昇や日銀による金融政策の維持などを背景に円安米ドル高に転じ、その後も日銀の副総裁がマイナス金利解除後も緩和的な金融環境を維持する見通しと発言したことなどを背景に、円安米ドル高基調となりました。2024年3月には、日銀がマイナス金利の解除など大規模な金融緩和の終了を発表したものの、他国・地域に比べて緩和的な環境が続く見通しなどから、円安基調となりました。その後、過度な円安米ドル高進行に対し政府・日銀が為替介入を行ったものの、円安基調は継続しました。しかし7月は、日銀が7月の金融政策決定会合において、緩和的な金融政策を修正する観測が高まったことなどから大幅な円高米ドル安に転じました。日銀が実際に利上げを決定した後も追加利上げへの警戒感がくすぶったことから、当作成期末にかけて円高基調は継続し、米ドルは対円で下落しました。

◆ 前作成期末における「今後の運用方針」

今後の運用にあたりましては、引き続き、ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行ってまいります。

◆ ポートフォリオについて

米国株式を中心に、ダウ・ジョーンズ工業株価平均との連動をめざす先物・E T F (上場投資信託証券) も一部利用し、株式組入比率 (E T F、株価指数先物を含む) につきましては、当作成期を通じておおむね100%程度の水準を維持しました。

ダウ・ジョーンズ工業株価平均の採用銘柄に投資を行うことで米国

株式のポートフォリオを構築し、ファンドの資産規模や資金動向、売買コストの抑制等を勘案しながら、基準価額とベンチマークとの連動性を維持・向上させるよう運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当作成期のベンチマークの騰落率は14.6%となりました。一方、当ファンドの基準価額の騰落率は15.0%となりました。

ファンドで組み入れているポートフォリオの騰落率とベンチマークの騰落率との差異や売買コスト等がかい離要因として挙げられます。

\*ベンチマークはダウ・ジョーンズ工業株価平均（税引後配当込み、円ベース）です。

《今後の運用方針》

今後の運用にあたりましても、引き続き、ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行ってまいります。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	1円
(株式)	( 0)
(先物・オプション)	( 0)
(投資信託受益証券)	( 0)
有価証券取引税	0
(株式)	( 0)
(投資信託受益証券)	( 0)
その他費用	2
(保管費用)	( 2)
(その他)	( 0)
合 計	3

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

(1) 株 式

(2023年9月8日から2024年9月9日まで)

	買 付		売 付	
	株 数	金 額	株 数	金 額
外国 アメリカ	百株 3,866.1 ( 658.67)	千アメリカ・ドル 71,713 ( —)	百株 1,491.77	千アメリカ・ドル 13,393

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ( )内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 投資信託受益証券

(2023年9月8日から2024年9月9日まで)

銘 柄	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国 アメリカ SPDR DJIA TRUST	千□ 114.471	千アメリカ・ドル 43,527	千□ 134.924	千アメリカ・ドル 50,011

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

(3) 先物取引の種類別取引状況

(2023年9月8日から2024年9月9日まで)

種 類 別	買 建		売 建	
	新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外国 株式先物取引	百万円 7,510	百万円 7,899	百万円 —	百万円 —

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

# NYダウ・インデックス・マザーファンド

## ■主要な売買銘柄

株 式

(2023年9月8日から2024年9月9日まで)

当 期				期 末			
買 付		付		売 付		付	
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
AMAZON.COM INC (アメリカ)	77.41	2,051,158	26,497	WALMART INC (アメリカ)	48.13	1,273,034	26,449
UNITEDHEALTH GROUP INC (アメリカ)	10.5	820,499	78,142	WALGREENS BOOTS ALLIANCE INC (アメリカ)	72	235,621	3,272
GOLDMAN SACHS GROUP INC (アメリカ)	10.5	635,031	60,479	SOLVENTUM CORP (アメリカ)	18.127	179,178	9,884
MICROSOFT CORP (アメリカ)	10.5	615,045	58,575	UNITEDHEALTH GROUP INC (アメリカ)	0.39	30,980	79,437
HOME DEPOT INC (アメリカ)	10.5	528,622	50,344	MICROSOFT CORP (アメリカ)	0.39	24,111	61,823
CATERPILLAR INC (アメリカ)	10.5	503,007	47,905	GOLDMAN SACHS GROUP INC (アメリカ)	0.39	22,977	58,917
AMGEN INC (アメリカ)	10.5	460,070	43,816	HOME DEPOT INC (アメリカ)	0.39	21,856	56,041
MCDONALD'S CORP (アメリカ)	10.5	431,531	41,098	CATERPILLAR INC (アメリカ)	0.39	19,030	48,797
VISA INC-CLASS A SHARES (アメリカ)	10.5	412,343	39,270	MCDONALD'S CORP (アメリカ)	0.39	17,495	44,860
SALESFORCE.COM INC (アメリカ)	10.5	385,916	36,753	SALESFORCE.COM INC (アメリカ)	0.39	17,204	44,114

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

## ■組入資産明細表

(1)外国株式

銘 柄	期 首 株 数	当 期 株 数	期 末		業 種 等
			評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
HONEYWELL INTERNATIONAL INC	673	774.1	15,337	2,189,851	資本財・サービス
APPLE INC	673	774.1	17,093	2,440,635	情報技術
BOEING CO/THE	673	774.1	12,201	1,742,110	資本財・サービス
VERIZON COMMUNICATIONS INC	673	774.1	3,185	454,814	コミュニケーション・サービス
JPMORGAN CHASE & CO	673	774.1	16,446	2,348,235	金融
CATERPILLAR INC	673	774.1	25,495	3,640,284	資本財・サービス
CISCO SYSTEMS INC	673	774.1	3,754	536,051	情報技術
COCA-COLA CO/THE	673	774.1	5,506	786,281	生活必需品
AMAZON.COM INC	—	774.1	13,267	1,894,305	一般消費財・サービス
GOLDMAN SACHS GROUP INC	673	774.1	37,126	5,300,937	金融
HOME DEPOT INC	673	774.1	27,871	3,979,488	一般消費財・サービス
INTL BUSINESS MACHINES CORP	673	774.1	15,539	2,218,698	情報技術
JOHNSON & JOHNSON	673	774.1	12,724	1,816,826	ヘルスケア
MCDONALD'S CORP	673	774.1	22,410	3,199,838	一般消費財・サービス
3M CO	673	774.1	9,954	1,421,364	資本財・サービス
MERCK & CO. INC.	673	774.1	9,121	1,302,438	ヘルスケア
NIKE INC -CL B	673	774.1	6,241	891,171	一般消費財・サービス
DOW INC	673	774.1	3,923	560,145	素材
PROCTER & GAMBLE CO/THE	673	774.1	13,592	1,940,725	生活必需品
CHEVRON CORP	673	774.1	10,725	1,531,448	エネルギー
TRAVELERS COS INC/THE	673	774.1	18,149	2,591,392	金融
SALESFORCE.COM INC	673	774.1	18,885	2,696,502	情報技術

銘柄	株数	株数	期末		業種等
			評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
UNITEDHEALTH GROUP INC	百株 673	百株 774.1	千アメリカ・ドル 46,204	千円 6,597,075	ヘルスケア
WALT DISNEY CO/THE	673	774.1	6,807	971,965	コミュニケーション・サービス
WALMART INC	673	774.1	5,932	847,071	生活必需品
WALGREENS BOOTS ALLIANCE INC	673	—	—	—	生活必需品
VISA INC-CLASS A SHARES	673	774.1	21,626	3,087,764	金融
AMERICAN EXPRESS CO	673	774.1	18,892	2,697,497	金融
AMGEN INC	673	774.1	24,814	3,543,021	ヘルスケア
INTEL CORP	673	774.1	1,462	208,783	情報技術
MICROSOFT CORP	673	774.1	31,095	4,439,829	情報技術
ファンド合計	株数、金額 20,190 銘柄数 < 比率 > 30 銘柄	23,223 30 銘柄	475,392	67,876,557 <95.8%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。  
 (注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。  
 (注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国投資信託受益証券

銘柄	口数	口数	期末	
			評価額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ) SPDR DJIA TRUST	千口 57.008	千口 36.555	千アメリカ・ドル 14,785	千円 2,111,059
合計	口数、金額 57.008 銘柄数 < 比率 > 1 銘柄	36.555 1 銘柄	14,785	2,111,059 <3.0%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。  
 (注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。  
 (注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(3) 先物取引の銘柄別期末残高 (評価額)

銘柄別	当期末	
	買建額	売建額
外国 DJIA MINI E-CBOT (アメリカ)	百万円 894	百万円 —

(注1) 外貨建の評価額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。  
 (注2) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年9月9日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	千円 67,876,557	% 95.8
投資信託受益証券	2,111,059	3.0
コール・ローン等、その他	857,656	1.2
投資信託財産総額	70,845,273	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。  
 (注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、9月9日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝142.78円です。  
 (注3) 当期末における外貨建純資産(70,675,535千円)の投資信託財産総額(70,845,273千円)に対する比率は、99.8%です。

# NYダウ・インデックス・マザーファンド

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年9月9日現在

項 目	当 期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>71,038,471,931円</b>
コール・ローン等	234,486,721
株式（評価額）	67,876,557,470
投資信託受益証券（評価額）	2,111,059,533
未収入金	200,407,377
未収配当金	172,476,215
差入委託証拠金	443,484,615
<b>(B) 負債</b>	<b>200,175,405</b>
未払金	200,175,405
<b>(C) 純資産総額（A－B）</b>	<b>70,838,296,526</b>
元本	19,836,963,271
次期繰越損益金	51,001,333,255
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>19,836,963,271口</b>
<b>1万口当り基準価額（C/D）</b>	<b>35,710円</b>

\* 期首における元本額は18,068,033,134円、当作成期間中における追加設定元本額は2,724,195,244円、同解約元本額は955,265,107円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：  
iFree NYダウ・インデックス 19,836,963,271円

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は35,710円です。

## ■損益の状況

当期 自 2023年9月8日 至 2024年9月9日

項 目	当 期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>1,130,610,265円</b>
受取配当金	1,105,484,636
受取利息	7,636,327
その他収益金	17,564,521
支払利息	△ 75,219
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>7,248,587,486</b>
売買益	11,228,158,248
売買損	△ 3,979,570,762
<b>(C) 先物取引等損益</b>	<b>96,884,083</b>
取引益	153,748,074
取引損	△ 56,863,991
<b>(D) その他費用</b>	<b>△ 3,441,682</b>
<b>(E) 当期損益金（A＋B＋C＋D）</b>	<b>8,472,640,152</b>
<b>(F) 前期繰越損益金</b>	<b>38,023,835,330</b>
<b>(G) 解約差損益金</b>	<b>△ 2,382,130,353</b>
<b>(H) 追加信託差損益金</b>	<b>6,886,988,126</b>
<b>(I) 合計（E＋F＋G＋H）</b>	<b>51,001,333,255</b>
<b>次期繰越損益金（I）</b>	<b>51,001,333,255</b>

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

ダウ・ジョーンズ工業株価平均は S&P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社（「SPDJ」）の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P<sup>®</sup>、S & P 500<sup>®</sup>、US 500、The 500、iBoxx<sup>®</sup>、iTraxx<sup>®</sup> および CDX<sup>®</sup> は、S&P Global, Inc. またはその関連会社（「S & P」）の商標です。Dow Jones<sup>®</sup> は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスは SPDJ に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。NYダウ・インデックス・マザーファンドは、SPDJ、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、ダウ・ジョーンズ工業株価平均のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。